

## 1年2組の実践

### 1 学年のテーマ

「自分の思いや考えを、友達に伝えることができる児童」

### 2 実践の方法

#### (1) 教科と単元

生活科「あきと あそぼう」（10時間完了）

#### (2) 具体的な手立て

##### ① 「おためしコーナー」・・・試行錯誤できる場

自分の思いに合ったどんぐりごまを作ることができるようにするために、作ったどんぐりごまをすぐに回すことができる場（おためしコーナー）を用意する。そこでの活動から、児童自ら改善点を見つけ出し、試行錯誤できるようにする。【個別最適な学び】

##### ② 「アピールタイム」・・・児童の思いを伝え合う場

グループの友達との話合いを通して、児童の思考の深まりとともに、活動に対する関心を持続できるようにする。【協働的な学び】

### 3 公開授業の様子（8／10時間）



① 「おためしコーナーで自分の作ったこまを回している様子」



② 「友達とこまが長く回し続けるための工夫を話し合う様子」